

事業名 郷土館開館30周年記念「たきかわ・昭和のこどもたち展」		評価実施者		所 属 美術自然史館	
		職・氏名		副館長 森 昌之	

事業の概要	開始年度	根拠法令等					特定財源
	実施方法	☒ 直接 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担金 ☐ その他〔 〕					
	目 的	郷土館開館30周年を記念し、昭和30～40年代をテーマに展示を行うことにより、写真を中心とした資料の充実を図る。また、当時を懐かしく振り返る展示を通じて、再び多くの市民に郷土館に目を向けていただく機会とする。					
事業内容	郷土館開館30周年を記念し、その歴史を振り返るとともに、2階展示室のリニューアルに取り組む。展示は、滝川が最も活気づいていた昭和30～40年代の滝川のこどもたちがテーマで、写真を中心に当時の子どもの文化や風俗、街並みを紹介する内容。併せて学校・茶の間など各コーナーにテーマを設定し、既存展示をリニューアルする。						

事業コスト	区 分	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	特 記 事 項
	事業費(A)				220		
	うち一般財源				220		
	人件費(B)						
	総コスト(A)+(B)	0	0	0	220	0 ※単位：千円	

実績と成果	区 分	単位	H16	H17	H18	H19	H20	左記以外の19年度の実績・成果	
	事業の実績 (アウトプット)	1							
		2							
		3							
	事業の成果 (アウトカム)	1							
		2							
		3							

評価項目	点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察	
1 適応性	7	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
		②事業を市が行う必要性があるか。	□ 4 ■ 3 □ 2 □ 1
滝川市民の郷土の歴史に対する意識が薄れていく中、将来のまちづくりのため、先人の築いたものを未来に伝える必要がある。歴史資料の充実を図るとともに、多くの市民に目を向けてもらう展示を行うことで、郷土の歴史を知り、魅力を再発見する機会となることから、郷土研究会等との連携を図りながら市が主体的に実施する必要がある。			
2 有効性	8	③事業の目的に照らして効果的な手法か。	■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
		④施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。	■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
H19教育行政執行方針に基づき、より一層利用される郷土館を目指し事業を開催したが、多くの市民が郷土の歴史を理解することに寄与したが、郷土研究会との連携などについてさらに研究を要する。また、郷土の歴史を語り継ぐための資料の充実にも寄与した。			
3 目標達成度	6	⑤目標の水準は適切か。	□ 4 ■ 3 □ 2 □ 1
		⑥計画通りに目標を達成できたか。	□ 4 ■ 3 □ 2 □ 1
少ない予算の中、郷土館の使命・役割を達成するための目標設定は適切であり、期間中600人を越える市民が郷土館を訪れ、郷土の歴史に触れる機会となった。なお、事業の効果は上がったが、郷土研究会等との連携などやや不十分な点も見受けられた。			
4 経済性効率性	7	⑦コストは縮減しているか。	■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
		⑧事務は効率的に行われているか。	□ 4 ■ 3 □ 2 □ 1
必要最小限の経費で展示物の作成及びリニューアルを行っており、少ない経費の中で効果を上げている。			

総合評価	合計	28	ランク (A～E)	上記評価を踏まえた事業の課題	郷土の歴史を後世に伝えるためにも、資料の収集・保存・活用に務めるとともに、郷土館により多くの市民に来館してもらう機会を作る必要があるが、郷土館運営の予算が非常に少ない中、郷土研究会等との連携を深め、定期的なリニューアルに務めるなどの必要性がある。
	↓	/32			
	88	A			
	100点換算	/100			☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☒ 質的向上 ☐ スピートアップ ☐ 検証 ☐ 現状維持

◎外部評価

評価項目	点数	判 定	点検・評価に関するコメント
1 適応性	7	① ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1 ② □ 4 ■ 3 □ 2 □ 1	合計 28 ↓ 100点換算 88 /100 ランク A ・頑張ってもらいたい。 ・福寿大学で展示会を見に行く機会がある。福寿大学の力は大きいので、大学メニューとの連携を考えると良い。 ・みんなに喜ばれる事業を考えてほしい。 ・収集資料を増やすことと、きちんと保管する必要がある。もっと予算をかけても良いのではないかな。 ・学校史など学校で保管しているが状態がよくない。郷土館に移管するわけにはいかないが、状態を確認することも必要。
2 有効性	8	③ ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1 ④ ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
3 目標達成度	6	⑤ □ 4 ■ 3 □ 2 □ 1 ⑥ □ 4 ■ 3 □ 2 □ 1	
4 経済性効率性	7	⑦ ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1 ⑧ □ 4 ■ 3 □ 2 □ 1	